

自立支援事業

北澤

「いろは」では、いろいろなイベントを行うそうです。
Q そうした訓練を経て、就労していくケースもあるわけですね。

北澤 そうですね。どの利用者の方も「いろは」を卒業された後は希望された活動の場所に移つて行かれます。就労といつても就労継続支援A型およびB型、「ワ



取材と原稿／前原政之(まえばらまさゆき)

1964年栃木県生まれ。1年のみの編プロ勤務を経て、87年 23歳でフリーに。ライター歴30年。

ありがとうございました。

ワークネットきようと



働きたい気持ちのある精神障害をお持ちの方に対して、一般就労を目指した支援を提供する事業所です。就業にともなう様々な生活技法の支援や各種訓練、職場実習などを提供し、一般就労を実現すると共に、さらには職場定着を図ることによって、ご本人の自立に寄与することを目的としています。

就職したいと思われる方、訓練を受けてみたい方、事業所に興味のある方は、まずは当事業所に電話等でご連絡ください。当事業所に来ていただく日程を調整し、相談を行います。

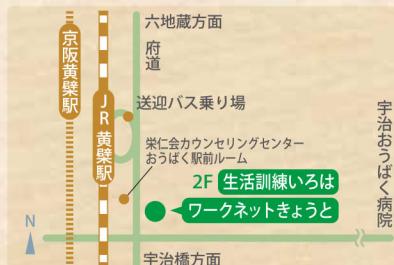
●住所／宇治市五ヶ庄新開 11-23 受付／Tel. 0774-38-0111 Fax. 0774-38-0151 (担当：金森)

生活訓練いろは



精神障害のある方の地域生活を支えるための、訪問や外出同行により生活支援を行なう他、少人数の通所施設では、調理やレクリエーションなどで生活支援を行なっています。訪問・通所両方でも利用可能です。

●住所／宇治市五ヶ庄新開 11-23 ワークネットきようと 2F
●受付／Tel. 0774-38-0111 Fax. 0774-38-0151 (担当：金森)



つたり、「いろは」に通えるようになつたり……。

「いろは」の強みは、訪問するスタッフが通所のスタッフも兼ねていることです。つまり、利用者は訪問を重ねる中で信頼関係を育めたスタッフがいる場所であれば、勇気を出して通所されるようになり、そこから他の人にも信頼関係を広げて利用者の方が望む生活を送つていけるよう、次のステップへと結びつけていきます。環境や人の変化に対しても不安が強い方にとつて、場所が変わつても関わる人が変わらないことがいはの強みだと思います。

Q 「いろは」では、いろいろなイベントを行うそうです。

北澤 はい。みんなでお菓子作りをしたり、小さな農園で野菜を作つたり、そこで収穫した野菜をお昼ごはんに使つてみんなで食べたり……。あとはクリスマスとか、お正月の餅つき大会など、いろんな季節のイベントを行なっています。

「いろは」の利用を必要としている精神障害を持つ利用者の方は、地域の人たちとのつながりが乏しいですし、みんなと一緒に楽しむこと 자체が苦手な方も多いんです。「いろは」で行なうイベントを通じて、そういうことに慣れていただくという意味で行つています。

それでも、通所される方々の意見を聞いて、利用者の方が希望されることをします。生活訓練の場ではありますですが、まずは生活を楽しんでいただけるように心がけています。

ワークネットきようと のような就労移行支援事業所などさまざまです。中には卒業後も「いろは」に関わりたいという利用者もおられます。そういう方の中には、同じ病気を抱えるピアサポート・スタッフとして「いろは」で活動される方もいます。

Q 精神障害者の方の就労は、単にお金を得ることだけが目的なのではなく、生き甲斐を得るという意味でも重要なのではないでしょか?

金森 おつしやるとおりです。働いていないことで社会に対して、強い負い目を感じてしまつて、自己肯定感の低い方が多いのです。たとえば、「同窓会の誘いがあつても行けない」とおつしやる方がいます。「同級生たちは勤め先でもそれなりの立場になつていて、自分は何もやつていながら恥ずかしい」と……。就労することは、自己肯定感を高め、社会とのつながりを持つためにも重要だと思います。

北澤 就職できて仕事がうまくいくと、それまでとは表情もまつたく違つて、いきいきとされます。私が担当したある女性は、就職が決まつたあとに恋人とも順調に交際され、結婚に至つて……と、人生すべてがいい方向に変わつていきました。

△ その意味で、「ワークネットきようと」も「いろは」も、利用者に生き甲斐を感じさせるという意義深い役割を果たしているのですね。